

令和2年度森林環境譲与税の使途一覧

千葉県

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度基金への積立額（千円）	事業内容	
		(A)+(B)+(C)	(A)うち令和2年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち基金取崩額（千円）			(C)うち他の財源（千円）
事業支援システムの構築	森林計画事業（森林情報管理）	13,885 (22,719)	13,885 (22,719)	0 (0)	0 (0)	— —	県が管理する森林資源情報を市町村等とリアルタイムで共有するため、森林クラウドの管理を行った。
	森林整備事前準備モデル事業	9,707	9,707	0	0	—	森林整備のための事前準備を実施する市町村を支援した。
森林整備の支援等	サンブスギ林総合対策事業（サンブスギ低被害林詳細調査）	4,585 [4,339]	4,585 [4,339]	0 [0]	0 [0]	— —	市町村主導でサンブスギ林の森林整備を実施する際に参考とするため、清腐病被害にかかりにくい品種や施業方法について詳細に調査した。
	林業普及指導事業（森林経営管理制度研修）	46	46	0	0	—	市町村職員を対象に、森林経営管理制度に関する研修を実施した。
	森林経営管理集落支援モデル事業	5,514	5,514	0	0	—	地域住民と森林の関わりの再生を図るため、市町村の集落等を活用した集約化施業を総合的に支援し、森林管理路の作設について助成した。
人材育成・担い手対策支援	さとやま整備・活用促進事業（ボランティア導入、地域ネットワーク化支援、里山移動学校等）	5,029	5,029	0	0	—	地域住民等による里山林の整備を進めるため、里山整備や利活用に関する総合窓口を設置し、活動する団体向けに安全講習会等を実施した。
	森林・林業経営参加促進事業	3,487	3,487	0	0	—	建設業等の異業種と林業事業者等との連携を図り、新規事業者の森林・林業への円滑な参加を支援した。
木材利用の推進	ちばの木生産流通拡大総合対策事業（県産木材の流通システムの構築）	139	139	0	0	—	県産木材の流通拡大に向けて、サプライチェーンの構築を促進するとともに、関係事業者が連携して新たな販路を開拓し、供給する仕組みづくりを支援した。
	【令和元年繰越】ちばの木生産流通拡大総合対策事業（県産木材活用調査業務委託）	1,870 [1,870]	1,870 [1,870]	0 [0]	0 [0]	— —	木造公共建築物の維持管理方法を明らかにすることによって、県産木材の公共建築物への利用を促進するために調査を行った。
	ちばの木生産流通拡大総合対策事業（ちばの木の香る街づくり推進事業）	9,903	9,893	0	9	—	公共建築物のほか、展示効果の高い施設における内装の木質化や木材製品の導入経費に対し助成を行った。
	ちばの木生産流通拡大総合対策事業（マテバシイ材利用拡大事業）	727	624	0	103	—	県南部地域を中心に分布しているマテバシイ材の有効活用を図るための調査研究を行った。
普及啓発の支援	林業普及指導事業（木育指導者養成研修）	1,945	1,945	0	0	—	木育を推進し、千葉県の森林・木材に対する県民の理解を促進するために、千葉県の森林・木材に関する知識があり、木育活動の企画立案・指導を行える人材を育成した。
	さとやま整備・活用促進事業（ちば里山アワードによる表彰事業）	68	68	0	0	—	市民団体等により実施されている優れた里山活動を表彰した。
基金積立	市町村支援等推進基金	60,129	60,128	0	2	60,128	今後の森林クラウドの更新・改良、人材育成、木材利用等の費用に充てるための金額を基金に積み立てた。なお、(C)欄は運用益である。
合計		117,033	116,920	0	228	60,128	繰越額を含む金額である。

※事業総額欄の下段（ ）書は、翌年度への繰越額で外数である。

※事業総額欄の下段[]書は、前年度からの繰越額で内数である。

※単位未満を四捨五入しているため、各欄を合計した値と合計欄の値は一致しないことがある。